２０２４年度

環境経営レポート

自　2024年04月01日
至　2025年03月31日

認証番号 0011293

奈良トヨタの自動車博物館「まほろばミュージアム」

発行日：2025年5月1日

奈良トヨタ株式会社

～環境経営レポート発行に向けて～

当社は、地域と地球環境に配慮した企業であり続けるため、環境省認定の「エコアクション21」の認証を全店で取得しております。

取得に向けては、毎日のゴミの計量、事務所内のゴミ箱の削減、昼休みの電気消灯、電気使用量の把握など、身近にできることから始め、見える化に取り組みました。それを基に、企業として把握するべき項目、取り組むべき項目を明確化し、CO2削減、省エネ、リサイクル、自然共生活動などに取り組んでいます。

自然共生活動（生態系保全）では、1992年より「まほろばクリーンキャンペーン」を開始し、今年で33回目を迎えました。その他にも、社用車利用における「エコドライブキャンペーン」、「奈良トヨタソーラーファーム」の稼働やグループ全社LED化など省エネ・自然エネルギー発電等の促進を行っております。また、整備工場では、必要な量だけ給油・廃油ができ、油漏れがない「オイル圧送システム」を導入し、環境保全だけでなく、作業効率の向上にも繋がっています。

合併により規模が大きくなったことで、審査における要求水準も高くなっていますが、環境における側面から経営におけるチャンスと捉え、長期的な視点に立って課題に取り組んでいます。

この環境経営レポートは全社員が一丸となって取り組みました一端を紹介しております。当社の環境対応にご理解賜れば幸いです。

奈良トヨタ株式会社
代表取締役社長　菊池　攻

NARA TOYOTA GROUP 奈良トヨタ NARA TOYOTA

[目 次]

1　環境経営方針　……P2

2　組織・事業の概要　……P3

3　認証登録の対象範囲　……P5

4　環境経営実施体制　……P6

5　環境経営目標　……P7

5.1　環境経営目標の基本方針　……P7

5.2　中期環境経営目標　……P8

6　環境経営目標実績、取組施策・評価、次年度の取組施策　……P9～11

7　自然共生活動　……P12

8　健康経営優良法人活動　……P12

9　環境関連法規等の遵守評価結果、違反・訴訟の有無　……P13

10　代表者による全体の評価と見直し・指示　……P14

1　環境経営方針

社　　是

規　律 － 明るい環境のもと規律正しい社風を確立しよう

信　頼 － 相互信頼を深め和と協調による人間関係を高めよう

奉　仕 － 誠実なサービスの蓄積によって社会との絆を強くしよう

福　祉 － 企業の繁栄を通じ自らの生活の向上を計ろう

環境経営方針

　奈良トヨタ株式会社は、お客様の立場になって考える優しさや思いやりを大切にし、自動車の販売・サービスを通じて、お客様とともに幸せな道をさわやかに走り続けます。
また当社の事業活動が地球環境に及ぼす影響を認識し、エコアクション21を取り入れた環境経営システムを確立し、全社員で取組み、奈良の自然環境を大切にし、奈良の文化に溶け込み、奈良県民に愛される地域密着型企業を目指します。

1. 環境に経営を位置付けて環境経営推進を目指し、経営におけるチャンスと課題を明確にして環境への取り組みに反映させます。
2. 当社は次の環境課題に取り組みます。
①事業活動に伴う環境側面を適切に管理し、地球環境への負荷の低減と汚染の予防に取り組みます。
②低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりに役立つ製品・サービスの提供に努めます
③環境経営システムを定期的に見直し、有効性を高め、継続的な改善に努めます。
④環境関連法規制及び地域並びにお客様の環境関連要求事項を遵守します。
⑤環境経営レポートを通じて、環境活動の状況を社内外に公開します。
⑥本方針を全従業員に周知します。

制定日　2015年10月1日
改定日　2024年 6月1日
奈良トヨタ株式会社
代表取締役社長　菊池 攻

2　組織・事業の概要

(1)　事業者名及び代表者名

奈良トヨタ株式会社

代表取締役社長　菊池　攻

(2) 事業所名及び所在地

本社　〒630-8141　奈良県奈良市南京終町2丁目269番地

下記の「事業所一覧表」に記す

(3) ＥＭＳ管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者：取締役　総務部長　西島　　寛

担当者：総務部　課長　　山上　健志

　　総務部　課長代理　高野　遥平

TEL：0742-61-3301　　FAX：0742-62-6730

E-mail: y_takano@naratoyota.co.jp

(4) 事業内容

新車及び中古自動車の販売と点検整備、保険代理業

(5) 事業規模等

売上金額　　35,426百万円／年（2024年度・全社）

資本金　　80百万円

従業員数　　481名（2025年3月31日現在）

社屋延面積　　27,006㎡

敷地面積　　80,435㎡

(6) 事業年度　　4月1日～3月31日

事業所一覧表

事業所名	所在地	従業員数（人）	敷地面積（㎡）
奈良本社・モビリティガーデン奈良本店	奈良県奈良市南京終町2丁目269番地	71	5,389
田原本本社・田原本店	奈良県磯城郡田原本町唐古296番地	74	13,379
JR奈良駅前店	奈良市杉ヶ町30番地	21	2,900
ﾓﾋﾞﾘﾃｨｶﾞｰﾃﾞﾝRT押熊	奈良市押熊町1445-4	19	5,078
ﾓﾋﾞﾘﾃｨｶﾞｰﾃﾞﾝRT押熊支店	奈良市押熊町1507-1	7	2,042
富雄店	奈良県奈良市鳥見町1-1-12	19	1,654
生駒店	奈良県生駒市高山町8291-1	14	2,905
TRパーク東生駒	奈良県生駒市小明町2101-1	13	1,526
大和小泉店	奈良県大和郡山市小林町西3-1-12	16	1,982
郡山店	奈良県大和郡山市筒井町1141-1	13	2,901
TRDパーク西大和	奈良県生駒郡斑鳩町龍田西7-1-7	18	2,670
ﾓﾋﾞﾘﾃｨｶﾞｰﾃﾞﾝRT香芝	奈良県香芝市畑2-879-1	21	2,435
香芝支店	奈良県香芝市尼寺2丁目299番地	6	1,500
桜井店	奈良県桜井市箸中839-3	17	1,740
ﾓﾋﾞﾘﾃｨｶﾞｰﾃﾞﾝLT橿原・レクサスCPO橿原	奈良県橿原市醍醐町348	22	4,127
大和八木店	奈良県橿原市新賀町136-1	18	1,807
ﾓﾋﾞﾘﾃｨｶﾞｰﾃﾞﾝRT高田	奈良県大和高田市神楽67-1	21	3,002
ﾓﾋﾞﾘﾃｨｶﾞｰﾃﾞﾝFT葛城・Ｕ－Ｃａｒ葛城店	奈良県葛城市東室93-3/93-4	24	4,248
TRDパーク吉野	奈良県吉野郡大淀町桧垣本1040	12	1,475
五條店	奈良県五條市今井5-5-1	13	1,490
U-CarMax奈良八条店	奈良市八条5丁目431-1	4	2,692
レクサス奈良八条	奈良市八条5-880	23	3,287
VW平城山	奈良市佐保台西町33-1	14	979
まほろばﾐｭｰｼﾞｱﾑ	奈良市八条5丁目431-1	1	U-CarMax奈良八条店内

※従業員数は2025年3月31日現在

3　認証登録の対象範囲

(1)対象事業所

全ての事業所（事業所一覧参照）

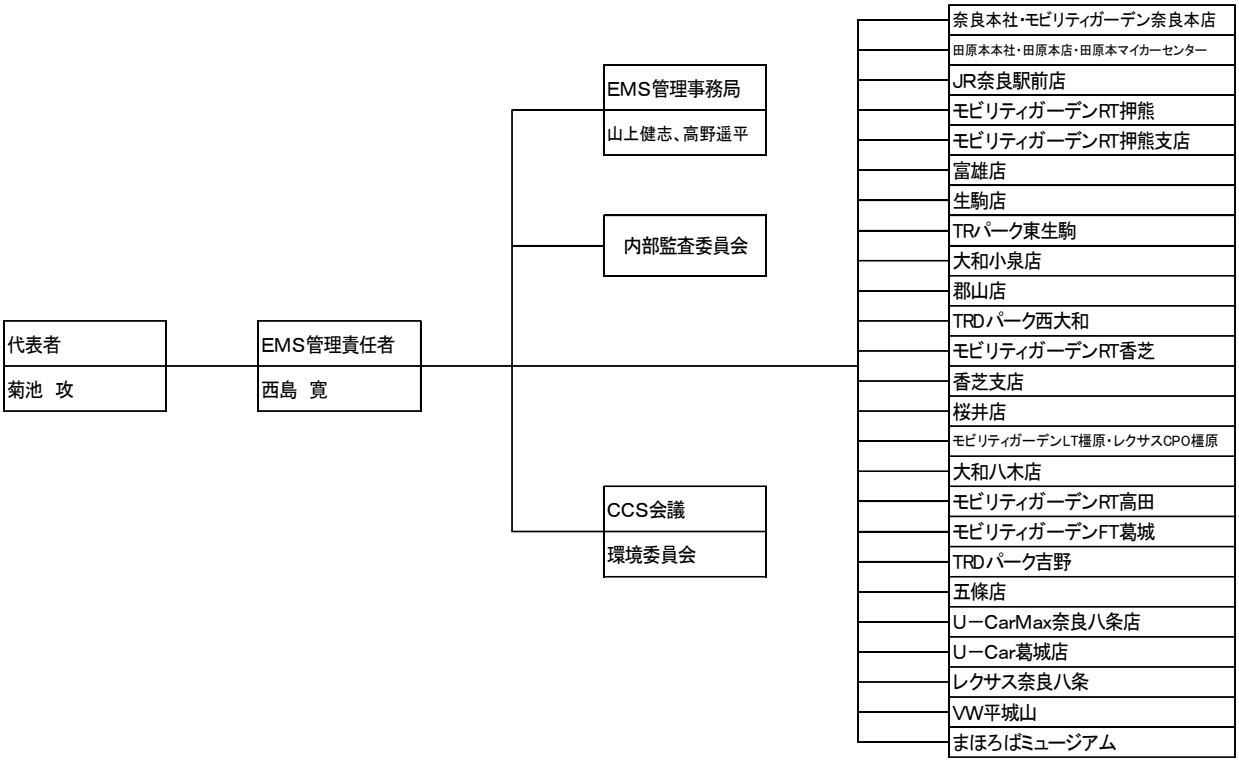
(2)対象事業活動

新車及び中古自動車の販売と点検整備、保険代理業

ホームページ：http://www.naratoyota.jp/

4　環境経営実施体制

組織図



代表取締役社長	環境経営システム(EMS)の総括責任 環境経営方針の制定及び周知 課題とチャンスの明確化 環境関連法規制等の周知及び管理 EMSに必要な経営資源の準備 EMS管理責任者の任命 環境経営目標及び環境活動計画の承認 EMSの定期的評価・見直しの実施 環境経営レポートの承認
EMS管理責任者 EMS管理事務局	環境経営システム(EMS)の構築・運用 EMSを構築・実施し、評価し、代表者に報告 EMSに関する教育・訓練の実施 環境負荷(エネルギー・廃棄物等)データの管理 EMSに関する文書・記録の作成及び管理 環境コミュニケーション 環境経営レポートの作成、公開
EMS責任者 （各部門責任者）	EMS部門責任者 計画、推進、評価、管理、管理責任者への提案報告
EMS推進者	EMS責任者の補佐
内部監査委員会	従業員が自社の取り組みを監査し指摘への対応をする
ＣＣＳ会議	EMS管理事務局の方針を各店舗及び従業員へ展開
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

EMS: environment 環境　management 経営・管理　system 仕組み

5　環境経営目標

5.1 環境経営目標の基本方針

事業活動において、次の重点課題に目標を設定し取り組みます。

①　電力及び化石燃料の消費量を削減する
　・社用車HV/PHV比率を向上させ魅力訴求活動に繋げる

②　電力及び化石燃料消費による二酸化炭素排出量を削減する

③　水資源の節減、水使用量を削減する
　・洗車頻度の高いサービスカー台数減に繋げる為、保険推販においてレンタカー特約付保率向上

④　産廃・一廃の分別、減量、再使用、再生利用を推進する
　・使用済バンパー等の廃プラ、段ボール・紙等は、廃棄物処理でなく資源循環システムを活用し再生利用促進

⑤　環境に配慮した事業活動を推進する

⑥　化学物質を適正に管理する

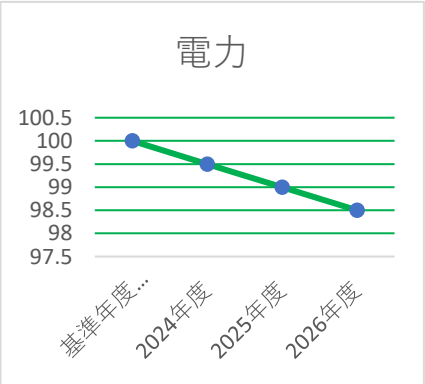
⑦　自然共生活動で生態系保全に取り組む
　・活動内容をホームページやSNSに盛り込み企業PRも推進

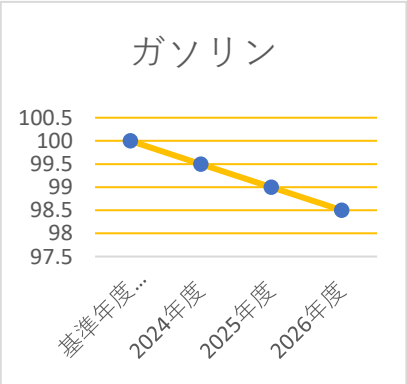
5.2 中期環境経営目標

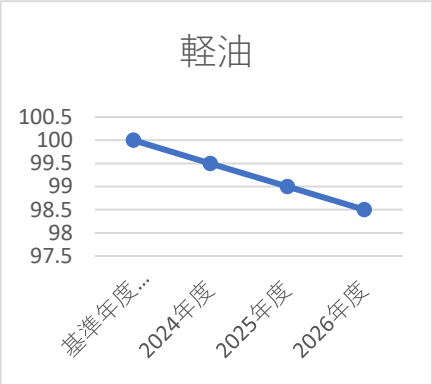
環境経営方針の実現を目指し、全社の環境経営目標を策定しています。

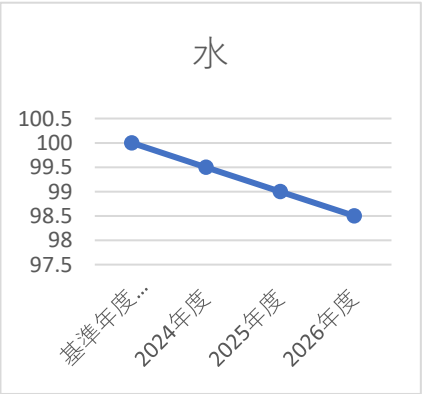
2024年度～2026年度目標 計画日：2024年6月1日							
基準年度：対象前年度（4月1日～翌3月31日） 中期目標策定方針：前年実績に比べ毎年0.5％削減							
項目	電力	ガソリン	軽油	水	産廃	一廃	HV比
目標値	-0.5%	-0.5%	-0.5%	-0.5%	-0.5%	-0.5%	0.5%

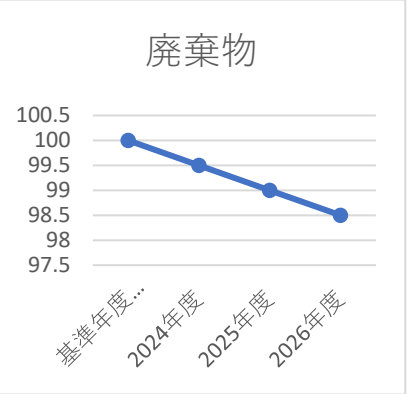
中期目標：2024年度～2026年度（2023年度を基準年度100とする）

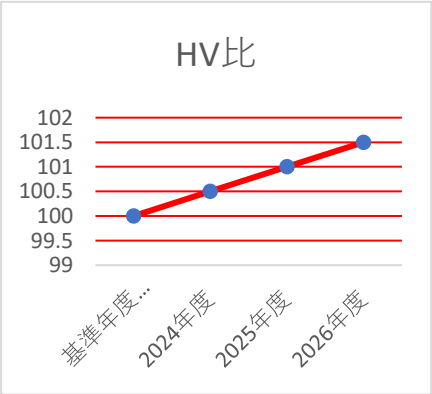












6　環境経営目標／実績（全社）2024年度～2025年度

環境経営目標 管理指標	基準年 2023年度	2024年度				2025年度
	実績	目標	実績	増減％	要因等	目標
電力消費量　kWh	2,679,242	2,665,846	2,950,614	11%	売上増加に伴う電力消費増加、エアコン新規設置	2,935,861
ガソリン使用量　ℓ	311,504	309,946	296,119	-4%	エコドライブ社内表彰などにより使用量削減	294,638
軽油使用量　ℓ	25,269	25,143	25,096	0%	前年ほぼ同値、繁忙期には積載車による使用量増加	24,971
全ＣＯ２排出量 kg-ＣＯ２	1,951,685	1,941,927	2,033,314	5%	―	2,023,147
全ＣＯ２量／売上 百万円当	64.1	64.1	63.1	-2%	―	62.8
水使用量の削減 上水使用量　㎥	21,576	21,468	20,857	-3%	節水、漏水定期点検などにより使用量減少	20,753
産業廃棄物削減 廃プラスチック類　kg	551,246	548,490	583,265	6%	車検、板金の増加に伴う廃棄物増加・店舗リニューアルによる廃棄物増加	580,349
一般廃棄物削減 可燃ごみ　kg	25,861	25,732	22,675	-12%	DX化によるペーパーレス効果により紙廃棄物削減	22,562
事業活動での環境配慮 「経営における課題とチャンス」 HV車保有比率　％	37.9	38.1	40.5	6%	着実にHV車への切り替えが進んでいる	40.7
化学物質の管理	規定順守	規定順守	規定順守	○	規定通りできた	規定順守
（化学物質購入量　ml）	3,840	3,840	960	○	削減できた	955
自然共生活動	育樹活動ほか		地域貢献清掃活動ほか	○	例年通り実施できた	地域貢献活動ほか
売上(全社)　百万円	30,430		32,233	－	－	―

※増減％は目標に対する実績数値で＋は未達、－は達成

※化学物質はPRTR対象外物質です。

CO2排出係数	電力		ガソリン		軽油	
kg-CO2	0.434	/kWh	2.32	/ℓ	2.62	/ℓ

※電力のCO2排出係数：0.434 kg-CO2／kWh （関電2024年度調整後）

2024年度の取組施策と評価

NO	環境経営目標	本年度の施策（達成手段）	評価
1	電力消費量の削減	節電　省エネ設備の検討	△
2	化石燃料の削減	省燃費運転表彰制度の新基準策定	○
3	全CO2排出量の削減	－	△
4	水使用量の削減	節水、漏水定期点検	○
5	産業廃棄物削減	分別リサイクルの推進	△
	廃プラスチック類		
6	一般廃棄物削減	ペーパーレス化(電子請求書、電子稟議書)	○
	可燃ごみ	古紙リサイクル	
7	事業活動での環境配慮	急速充電設備設置によるEV車の普及促進 HV車、PHEV車、FCV車 促進	○
	社用車のＨＶ化の推進		
	「経営における課題とチャンス」		
8	化学物質の管理	ＥＭＳ運用規定を制定し運用	○
9	自然共生活動	クリーンキャンペーン、給電車両活用	○
		植樹育樹活動	
10	ストック型環境配慮	レストア事業	○

※評価の「○」は取組ができたが数値目標達成には至らなかった項目もある。

「△」は取組に対する強化が必要な項目である。

次年度（2025年度）の取組施策

NO	環境経営目標	次年度の施策（達成手段）
1	電力消費量の削減	節電　省エネ設備の検討
2	化石燃料の削減	HV/PHV/EV車両比率向上
3	全CO2排出量の削減	－
4	水使用量の削減	節水・環境配慮型洗車機の導入など
5	産業廃棄物削減	分別リサイクルの推進
	廃プラスチック類	
6	一般廃棄物削減	社内書類ペーパーレス化の推進
	可燃ごみ	古紙リサイクル
7	事業活動での環境配慮	急速充電設備設置によるEV車の普及促進 HV車、PHEV車、FCV車 促進
	社用車のＨＶ化の推進	
	「経営における課題とチャンス」	
8	化学物質の管理	ＥＭＳ運用規定による運用継続
9	自然共生活動	クリーンキャンペーン継続
		植樹育樹活動継続
10	ストック型環境配慮	レストア事業

7　自然共生活動　（生態系保存）

まほろばクリーンキャンペーン　1992年7月より実施

川上村　奈良トヨタグループの森　2016年４月より実施

賢島研修所にて桜を植樹　2024年4月

2014年4月より、198kWの
ソーラー発電システムを導入
「年間発電量　約220,000kWh」

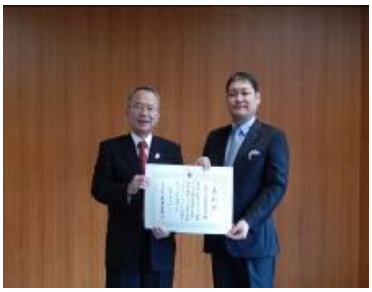
2022年3月
奈良県と災害時における
給電協定を締結

8　健康経営優良法人活動

健康経営優良法人ホワイト500
7回認定

2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

健康づくり取組知事表彰受賞



公共交通サービス
「チョイソコてんり」

9　環境関連法規等の遵守評価結果、違反・訴訟の有無

適用環境関連法規等及び遵守評価　　（評価日:2025年3月10日）

主な適用法規	主たる管理	評価
道路運送車両法	指定整備工場の管理	適合
消防法	防火、消火設備管理	適合
	危険物管理	
労働安全衛生法	安全管理・衛生管理	適合
	SDSの取得と周知	
水質汚濁防止法	自動車分解整備洗車施設の管理	適合
下水道法	自動式車両洗浄施設の管理	
PRTR法	第一種 指定化学物質の管理	適合
廃棄物処理法	廃棄物処理の委託管理	適合
フロン排出抑制法	業務用空調機器の点検	適合
浄化槽法	浄化槽の点検管理	適合

違反・訴訟について

環境関連法規への違反や訴訟はありません。関係当局からの違反等の指摘は、過去５年間ありません。

10　代表者による全体の評価と見直し・指示（実施日2025年4月1日）

環境経営システムの構築から数年が経過し、組織にかなり定着したと評価する。
社員の環境意識が変わり、行動に変化が見られた。
環境経営目標への取組について店舗改修工事や全社LED化の取り組みにより、
電力使用量の削減など積極的に取り組んだ。
店舗リニューアルにあたって環境配慮型施設投資や、急速充電設備の設置による
カーボンニュートラル推進への取り組みも行った。
給電車両を使ったイベントや防災への取り組み等社会貢献活動を数多く行った。
今後も「環境活動計画」を実行し「環境経営目標」の実現を目指すために、
企業理念の「すべてのご縁を生かして地域社会に貢献する」を念頭に、
より地域に根差した活動を実行し創意工夫して取組みたい。
「環境経営方針」、「環境マネジメント実施体制」、「環境経営目標」
については、妥当と判断し継続する。